

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	教育工学		
英文授業科目名	Educational Engineering		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田村 恭久		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ytamura@sophia.ac.jp	http://moodle.info.sophia.ac.jp

<b>【主題および達成目標】</b>
教職を目指す学生向けの、教育工学関連の基礎的な知識を概観する。教授法や学習支援の歴史、最近のコンピュータやネットワークを応用した学習形態であるeラーニングの技術と実践、学習プロセス設計の基礎であるID(Instructional Design)、教育のさまざまなマーケットなどを取り上げる。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
特になし。講義時にプレゼンテーションスライドの印刷物を配布する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
講義を中心として進める。毎回の講義に対する感想や課題をeラーニングを用いて提出させる。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

毎回の講義に対する提出物を総合評価する。7割以上の提出が必要。期末試験は行わない。

### 【オフィスアワー：授業相談】

- ・授業の前後に質問等を受け付ける
- ・本務校（上智大学）来訪を希望する場合は、事前にメールで日時を調整のこと

### 【学生へのメッセージ】

授業の本質は「先生に注意を向けること」ではなく、「授業内容に集中すること」のはず。従来の教室での集合教育は、ともすると前者に傾きがちだったが、eラーニングによって後者の可能性が高くなってきた。とはいえ、eラーニングは登場してから10年ほどの発展途上技術。皆さんがご自分の授業でこれを効果的に使い、皆さんの生徒が本来の「学習」を楽しめるような教育現場を切り開いていくことを願って、現状と今後の可能性を述べていきます。

### 【その他】